

(一社) 日本樹木医会 茨城県支部 令和2年度第4回研修会

開催趣旨

ナラ枯れは1990年以降徐々に被害が拡大し、日本海側地域を中心としていた。1998年迄に1府10県、2007年までは1府21県、2010年には2府28県におよびました。このような被害が拡大する中で、昨年令和2年にはつくば市と古河市で被害が確認されました。

ナラ枯れを引き起こす病原菌はナラ菌と呼ばれ、それを媒介するのがカシノナガキクイムシです。今後ナラ枯れの発生拡大に対処するために専門家をお招きして知見と対処方法を学び、近隣行政機関及び造園業者や公園管理者など身近に樹木に携わる関係者とともに情報共有することで発生拡大を最小限に抑えたいとの思いから、本研修会を企画しました。

日時 令和3年3月5日(金曜日)
受付10:00 研修開始10:30~15:00
場所 古河市「ネーブルパーク平成館」2F研修室、および屋外
住所 茨城県古河市駒羽根620番地 tel:0280-91-2080
主催 (一社) 日本樹木医会茨城県支部
共催 (公社) 茨城県林業協会
募集定員 樹木医・行政関係者・業界関係者 50名程度
参加費 無料
申込み (一社) 日本樹木医会茨城県支部 研修委員長 中村恵一
メールアドレス tsukubasan877@silk.ocn.ne.jp (携帯電話番号:090-6010-7451)

研修内容

高橋 由紀子 講師 博士(農学)

(森林総合研究所 きのこ・森林微生物研究領域 森林病理研究室 主任研究員)

「カシノナガキクイムシによる樹木の枯損」

タイムスケジュール (案)

開催時間	科目	講師名	備考
10:00~10:30	受付		
10:30~10:40	開会宣言 支部長挨拶・共催者挨拶等	副支部長 司会 研修委員長 長	

10：40~12：00	・カシノナガキクイムシによる樹木の枯損 ・被害木発見時の情報共有 ・質疑応答	高橋 由紀子 講師	70分講義 10分質疑 応答
12：00~13：00	休憩		60分
13：00~15：00	被害木の観察、対処方法	高橋 由紀子 講師 古谷 孝行 樹 木医	120分 屋外
15：00~15：15	休憩		15分
15：15~15：45	質疑応答		30分
15：45	閉会の言葉	副支部長	

※(一社)樹木医会茨城県支部会員につきましては、昼食を準備させていただきます。

参加いただく皆様へお願い

- 1.会場にて検温を実施します。37.5度以上の場合は出席をご遠慮ください。
- 2.マスクの着用をお願いします。
- 3.消毒薬を準備しますので、入室時にご利用ください。
- 4.研修室内の換気を行います。席によってはご自身による寒さ対策が必要かと思われるかもしれません。
- 5.新型コロナウイルスの感染拡大により、屋内の研修室が使用できなくなった場合は、講義を屋外で行わざるを得ないことも予想されます。ご不便をおかけしますがご了承ください。
- 6.お申込み者多数の場合は茨城県支部会員を優先させていただきますので、ご了承ください。
- 7.開催場所施設内にはレストランがありますが、利用する場合は3日前までの予約が必要です。各自でのご対応をお願いいたします。

以上